TRG117

Wide (200mm) ／ Narrow(180mm) 共通マニュアル

この度は、ＴＲＧ１１７コンバージョンキットをお買い上げ頂きありがとうございます。
このＴＲＧ１１７コンバージョンキットは、Ｆ１０３及びＦ１０４からのコンバートパーツセットです。

ＴＲＧ１１７ の主な特徴

・幅７７㎜スーパーナローデザインの３㎜厚カーボン製メインシャーシ
・リアサスペンションにＮｅｗシステム“Ｉバー”を採用
・高さ変更可能なロールピボット（標準は低タイプ／高タイプはオプション）
・安定感抜群のクランクタイプデュアルロールダンパーシステム
・トレッド調整可能なフロントダブルウィッシュボーンサスペンション
・テンション調整が簡単なスプリング装備のフロントダンパー
・フロントリバウンド調整用ツィーク機構装備
・堅牢な６４チタン製のアジャスタブルリンクタイプのフロントアッパーアーム
・多彩な搭載可能バッテリータイプ&搭載方法
・多様なバッテリー脱着方法が可能な２㎜厚カーボン製アッパープレート
・理想的なアッカーマンを実現したデュアルワイパーステアリングシステム
・トレール及び高さ調整可能なアジャスタブルフロントアップライト（標準０／３．６㎜）
・リアウイングの高さが無段階で設定可能な３㎜厚モーターマウントバックプレート
・クーリングファン取り付け可能な７０７５Ｔ６製モーターマウントR+L
・信頼性に優れ実践的なハイクォリティＰＲＩＭＥ製ピッチングダンパー標準装備

＊このキットはロープロサーボ専用です。
（その他のサーボを搭載する場合は、ＴＲＧ，タミヤ等のサーボマウントが別途必要です。）
＊キット標準仕様の場合、搭載可能なバッテリーサイズはショートタイプです。

主なキット内容	別途必要パーツ
・カーボンメインシャーシ（３．０㎜厚） ・カーボンリアロアブレース（２．４㎜厚） ・カーボンＩバー（２．０㎜厚） ・カーボンアッパープレート（２㎜厚） ・カーボンフロントロアサスアーム（３㎜厚）＊ ・１７Ｓフロントサスジョイント ・カーボンフロントストラット（３㎜厚） ・６４チタンフロントアッパーアーム（ターンバックル）＊ ・Ｗボールキングピン ・アジャスタブルステアリングアップライト（０／３．６㎜） ・カーボンステアリングプレート（３㎜厚） ・１７Ｓ ワイパーアームR+L ・６４チタンステアリングロッド（ターンバックル）＊ ・フリクションチューブダンパー（フレキシブルピストン） ・７０７５Ｔ６ モーターマウントV２ R+L ・カーボンモーターマウントフロント＆リアエンド（３㎜厚） ・カーボンロールプレート（２㎜厚） ・カーボンロールクランク（２㎜厚） ・モールドガイドブロック ・ライドハイトアダプター８種 (0/0.5/1/1.5/2/2.5/3/3.5㎜) ・ＰＲＩＭＥ製ピッチングダンパー ＊印のパーツは、ワイド仕様及びナロー仕様専用です。	・サーボセイバーホーン ＊タミヤハイトルクサーボセイバー推奨 ＊キンブロー（Mtype），ＸＲＡＹ（372503）も使用可能 ・リアアクスルパーツ（アクスルシャフト，R&Lハブ etc） ・デフパーツ一式 ・スパー＆ピニオンギア ・ベアリング各種 （フロント用：８５０or１０５０x４、リア用：１０６０x２） ・フロント＆リアホイール（タミヤタイプ） ＊フロントは、ＴＺconcept，ＺＥＮ等の大径タイプ推奨 ・フロント＆リアタイヤ（タミヤタイプ） ・ホイールナット ・フロント＆リアウイング（タミヤタイプ） ・フロント＆リアボディマウント ・ボディ ・ＲＣメカ類 ・モーター＆バッテリー ・各種工具

〈 注意 〉

＊このキットは、カーボン，アルミ等通電性の高い素材を多用しています。ショート等には充分にご注意して下さい。
＊マシンへバッテリーを搭載したままの放置は大変危険です。保管時はマシンから必ずバッテリーを取り外して下さい。

〒274-0807 千葉県船橋市咲が丘 2-35-4
Tel:090-7487-6691 Fax:047-449-8971
Mail:mail@rc-trg.com
http://www.rc-trg.com/

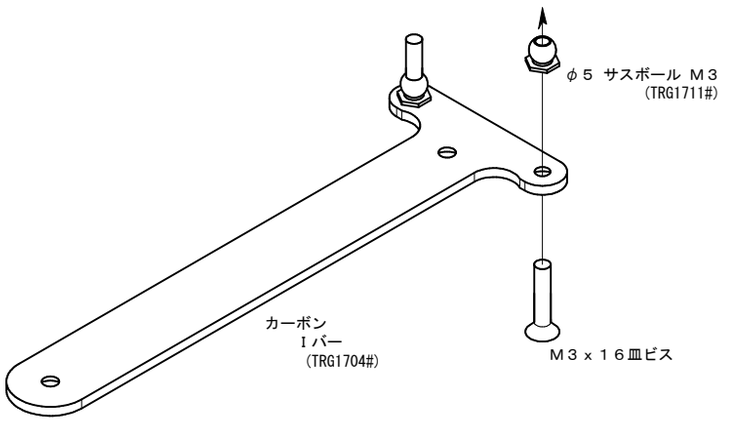
＊使用パーツ袋

Ⓐ

Ⓑ

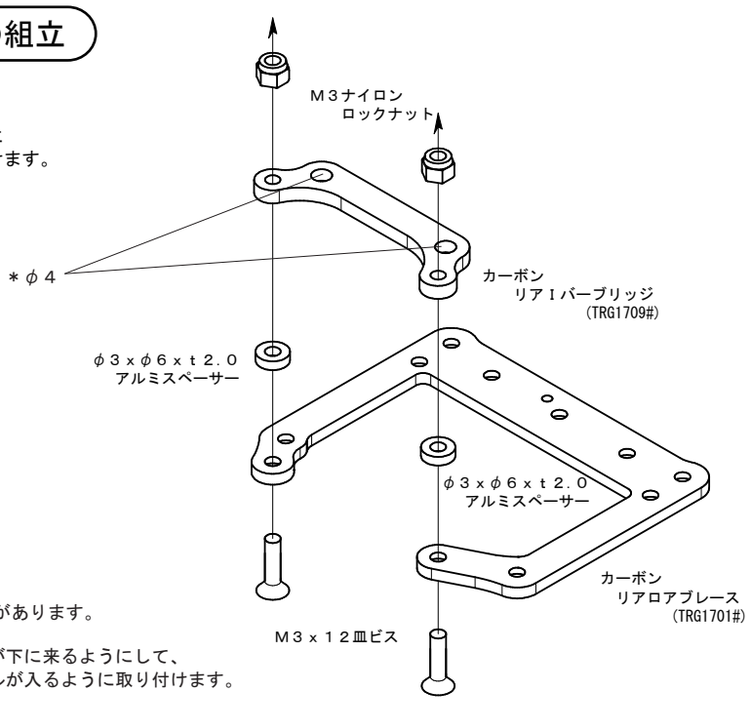
① Ｉバーの組立

図のようにカーボンＩバーの2ヶ所に
φ５サスボールを取り付けます。



② リアロアブレースの組立

図のようにカーボンリアロアブレースに
カーボンリアＩバーブリッジを取り付けます。

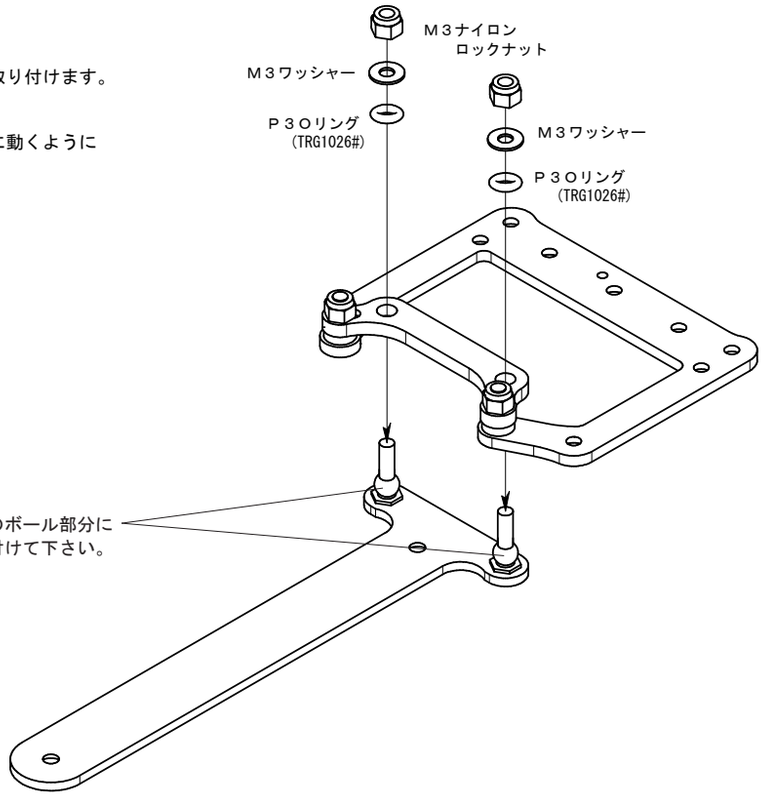


＊カーボンリアＩバーブリッジには裏表があります。
注意して下さい。
φ４の穴の方が上で、裏側のφ５の穴が下に来るようにして、
Ｉバー上のφ５サスボールＭ３のボールが入るように取り付けます。

③ リアサスの組立

図のようにリアロアブレースにＩバーを取り付けます。

＊ 2ヶ所のＭ３ナイロンロックナットは、
Ｉバーが上下方向にガタ無くスムーズに動くように
締めつけ具合を調整して下さい。



＊この２ヶ所のφ５サスボールＭ３のボール部分に
潤滑用のグリスを塗ってから組み付けて下さい。

＊使用パーツ袋

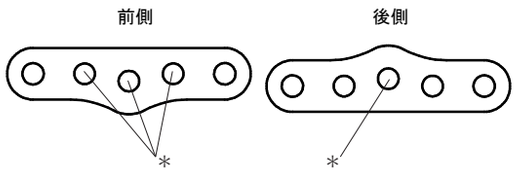
Ⓐ

Ⓑ

④ センターブリッジの取付

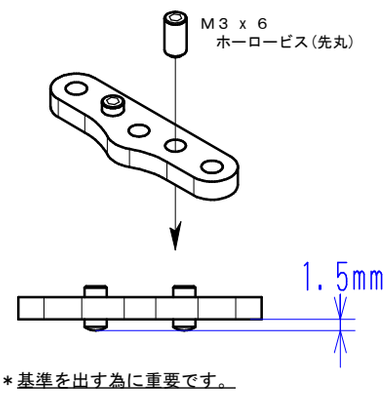
図のようにカーボンメインシャーシに
カーボンセンターＩバーブリッジを取り付けます。
この際、センターＩブリッジの向きに注意して下さい。

カーボンセンターＩバーブリッジ(TRG1703#)

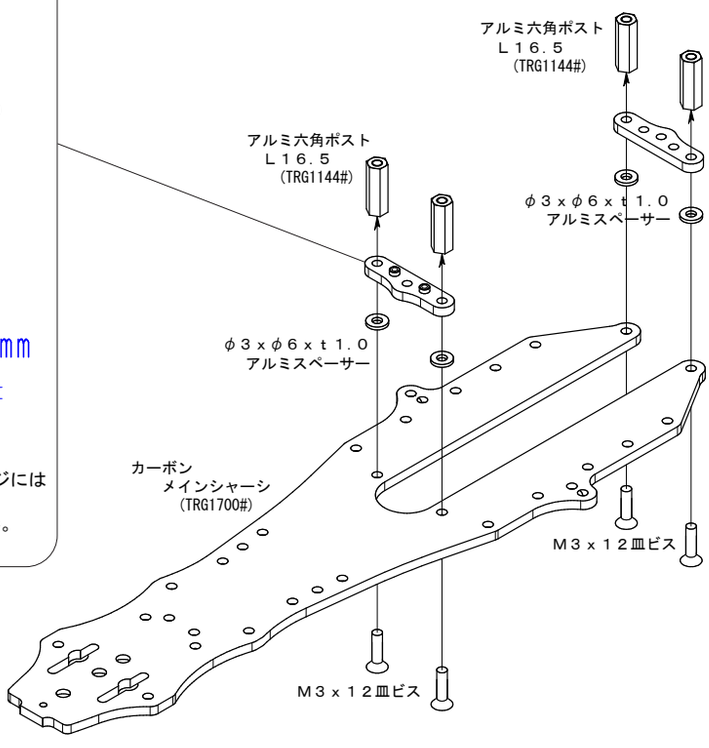


カーボンメインシャーシに取り付ける前に
前側１ヶ所、後側１ヶ所所に付属のＭ３x８ナベビス等を使用して
Ｍ３(P0.5)のネジを使用して仮通しをして下さい。
その際、垂直になるように慎重にゆっくりと行って下さい。
また加工前に、剥離防止の為、ネジ穴の入り口の面取りや
ネジ穴に瞬間接着剤を流しておくことをお勧めします。

カーボンセンターＩバーブリッジ
前側



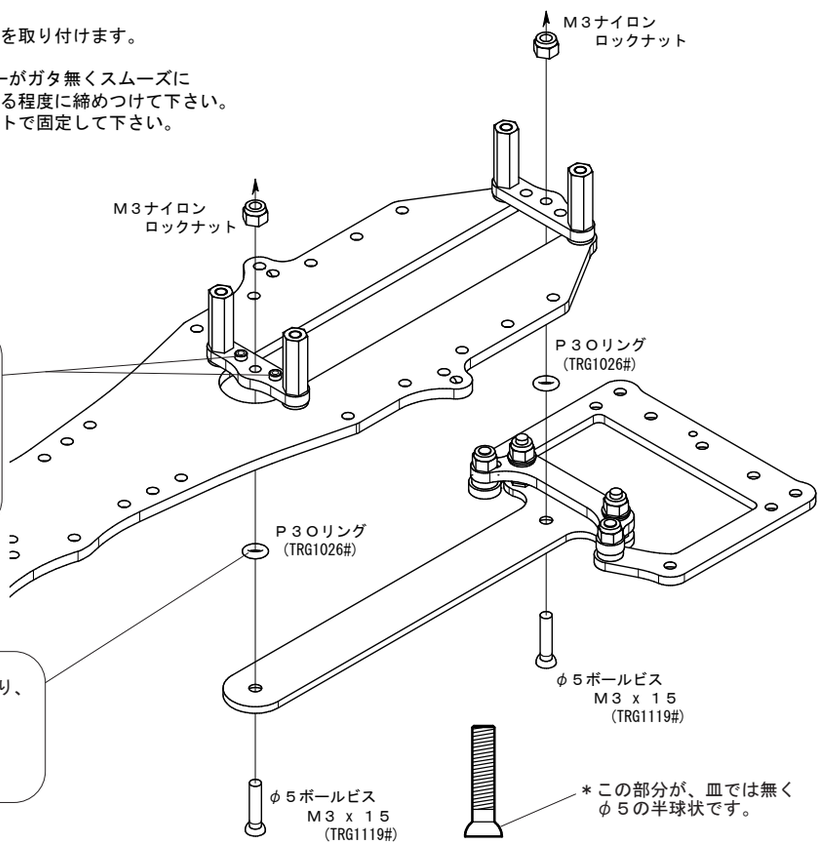
＊基準を出す為に重要です。
前側のカーボンＩバーセンターバーブリッジには
図のように、Ｍ３x６ホーロービスを
先端が１．５㎜出るように取り付けて下さい。



⑤ リアサスの取付

図のようにメインシャーシにＩバーを取り付けます。

＊2ヶ所のφ５ボールビスは、Ｉバーがガタ無くスムーズに
動くよう、Ｏリングが軽くつぶれる程度に締めつけて下さい。
そして、Ｍ３ナイロンロックナットで固定して下さい。



＊上の④で設定した前側センターブリッジの２ヶ所のツィークを調整します。
左右のホーロービスを均等に少しずつ（最大 1/4 回転ずつ）締め込み、
ロールにガタの無いゼロポイントを設定します。
この基準の状態で、
よりリアグリップが欲しい場合、少しずつ緩めます。（最大 1/4 回転ずつ）
基本的に緩める（ガタが大きい）ほどリアの安定感が増しますが、
緩めすぎに注意して下さい。逆効果になる場合があります。

＊この前側のＯリングをスペーサーに（φ３xφ６x２ｔ）に変更することにより、
調整作業が無くなり設定が楽になります。
ただし、リアを安定させるツィークによる調整は出来ません。
＊スペーサーは、材質（金属や樹脂）によっても特性が変わります。

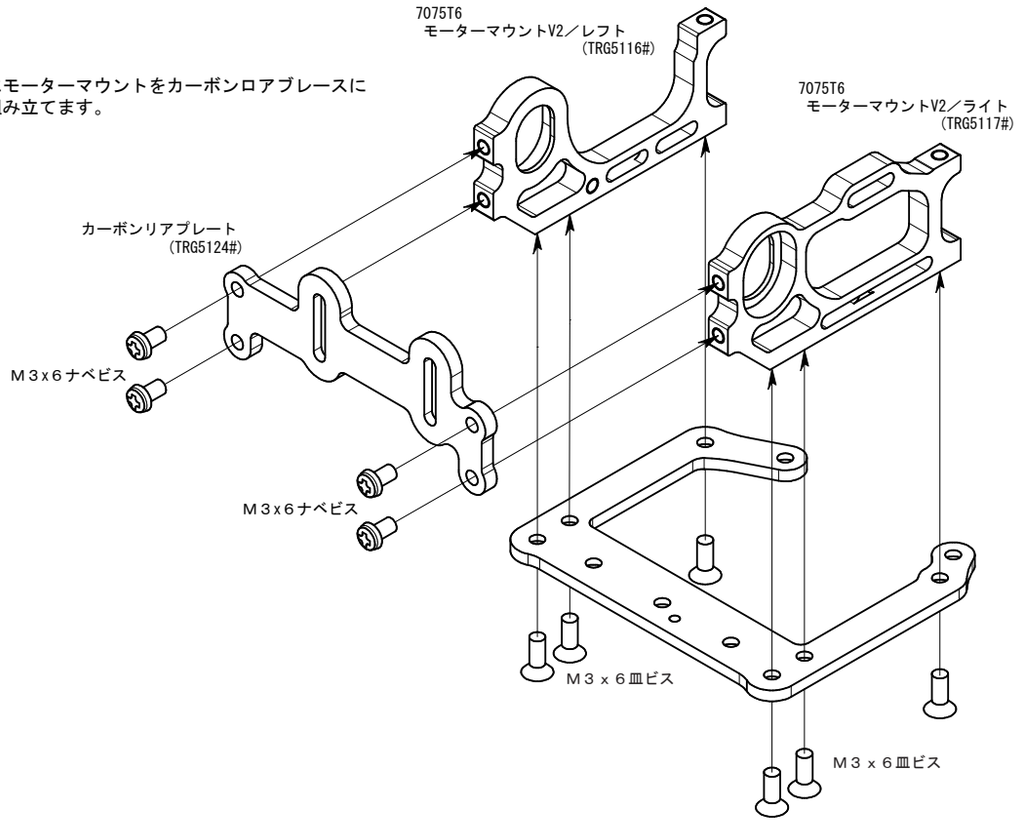
＊使用パーツ袋

Ⓐ

Ⓒ

⑥ モーターマウントの組立

図のようにモーターマウントをカーボンロアブレースに
取り付け組み立てます。



＊使用パーツ袋

Ⓐ

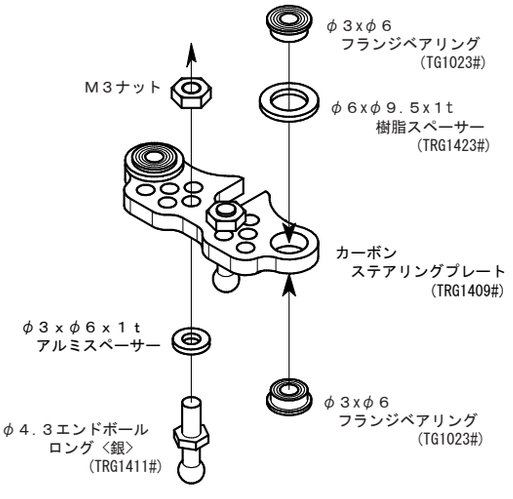
Ⓓ

⑦ ステアリングプレートの組立

＊カーボンステアリングプレートには裏表があります。
両サイドにフライス加工された面が下になります。

＊ベアリング及びロッドエンドボールをそれぞれ
左右に同じように取り付けます。

＊φ４．３ロッドエンドボールは、銀色の長い方です。

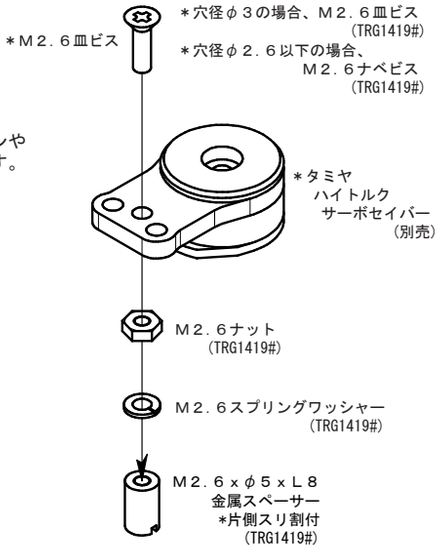


⑧ サーボセイバーホーンの組立

＊サーボセイバーは付属していません。別途ご用意下さい。

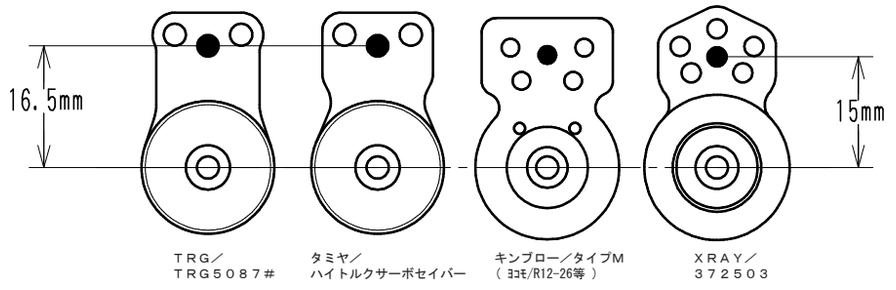
タミヤ ハイトルクサーボセイバーの場合

＊ホーン部分は、タミヤ純正オプションや
TRG5087#等のアルミ製を推奨します。



推奨サーボセイバーホーン

＊ピッチ寸法は、下図のように１５～１６．５㎜のものが使用可能です。

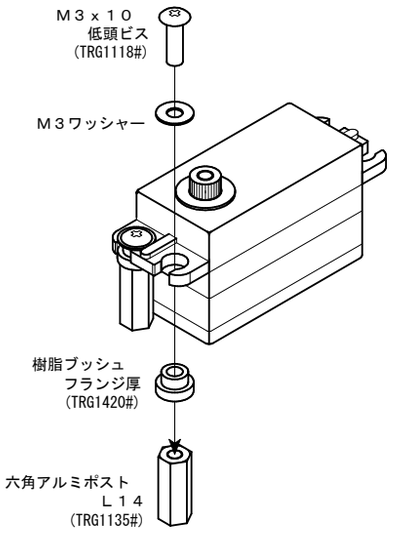


＊使用パーツ袋

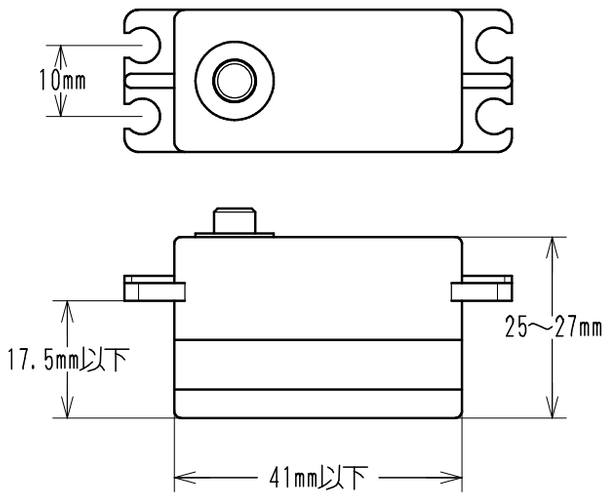
Ⓓ

⑨ サーボマウントの取付

＊ステアリングサーボは、基本的にロープロタイプ専用です。

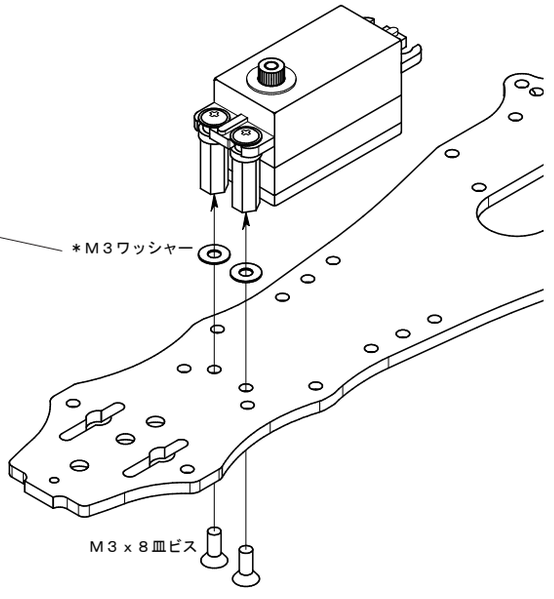


使用可能サーボサイズ

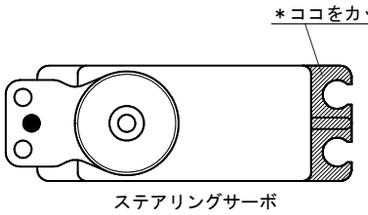


⑩ ステアリングサーボの取付

＊サーボの底が、メインシャーシに干渉しないように
ワッシャー、スペーサー等を使用して高さを調整して下さい。



＊スピードコントローラー等メカを搭載の際、
干渉する場合、一部加工が必要です。



＊使用パーツ袋

Ⓐ

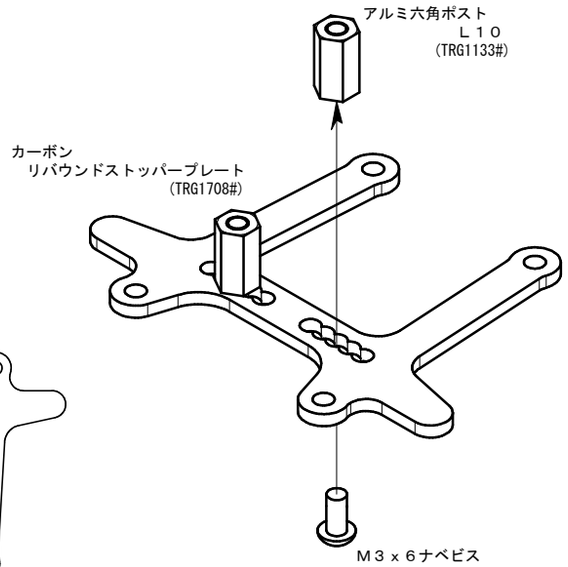
Ⓓ

⑪ フロントリバウンドストッパープレートの組立

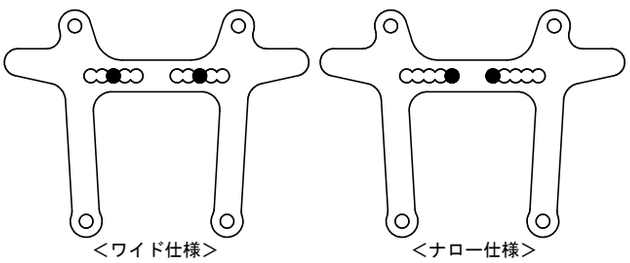
図のように、カーボンリバウンドストッパープレートに
フロントダンパーポストを取り付けます。
＊右図は、ワイド仕様の場合の組み付け位置です。

＊ワイドとナローで基本の取り付け位置が違います。
下図を参考にして下さい。

また、全幅(トレッド)をした場合も
フロントダンパーポスト位置の変更が必要な場合があります。



フロントダンパーポスト基本取り付け位置

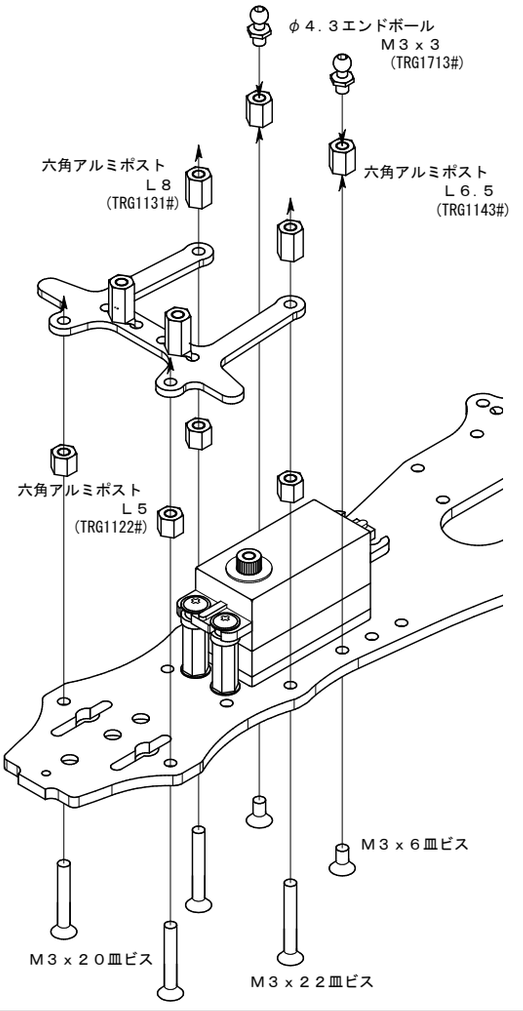


＊使用パーツ袋

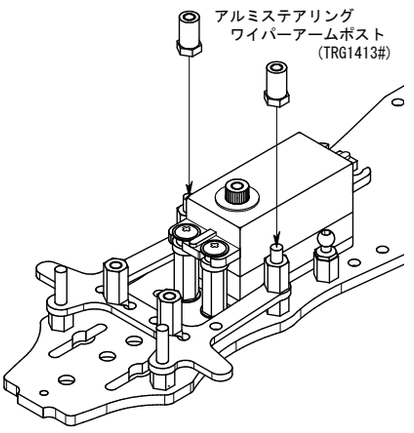
Ⓓ

⑫ リバウンドストッパーの取付

図のようにリバウンドストッパーをメインシャーシに取り付けます。

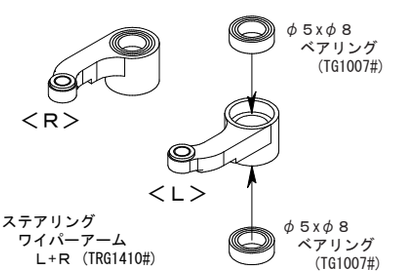


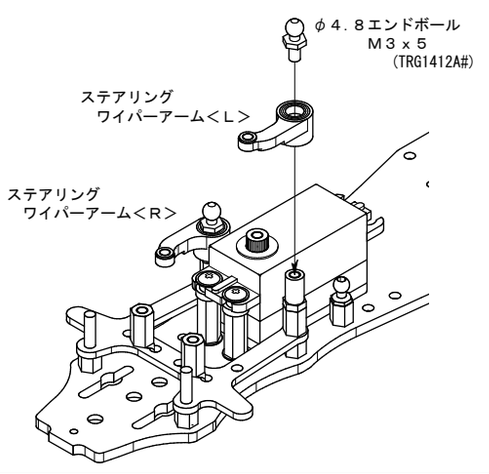
最後に下図のように、
アルミステアリングワイパーアームポストを
左右に取り付けます。



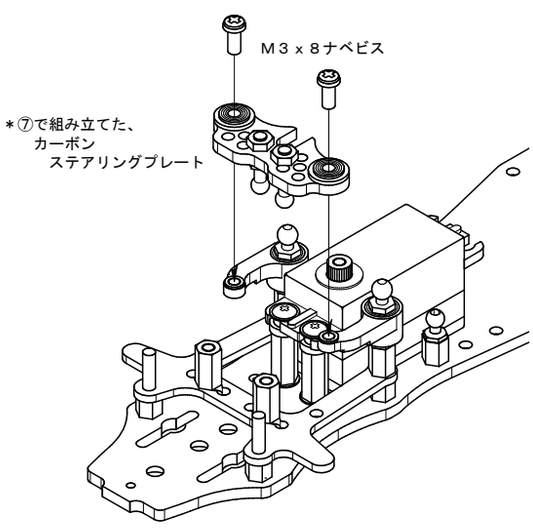
⑬ ステアリングワイパーアームの取付

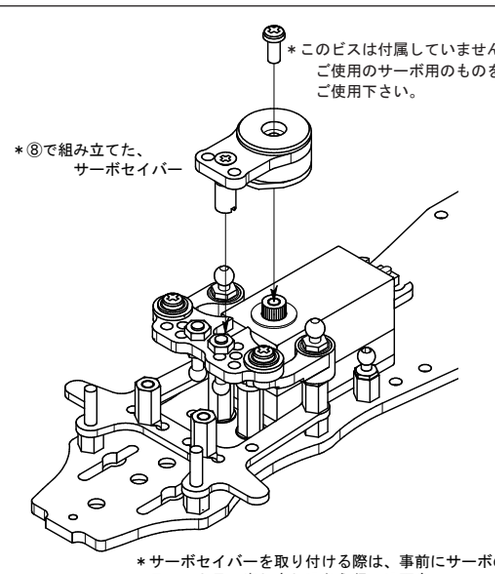
＊図のように左右のステアリングワイパーアームに
φ５xφ８ベアリングを取り付けます。





⑭ ステアリングユニットの組立





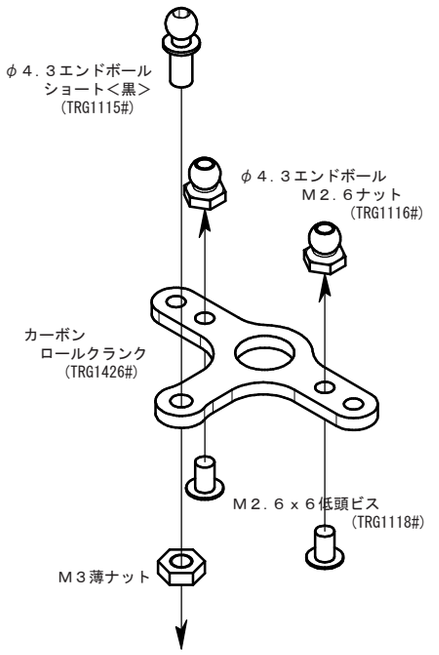
＊サーボセイバーを取り付ける際は、事前にサーボの
ニュートラル出しをしてから行って下さい。

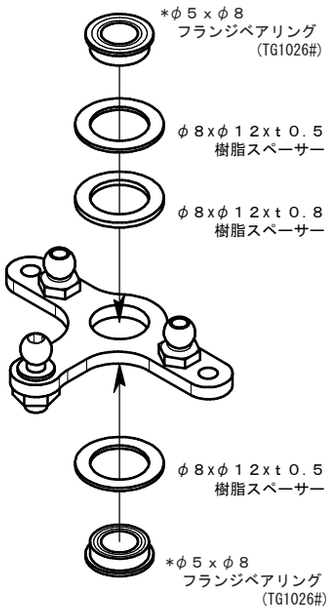
⑮ ロールクランクの組立

＊ベアリングは、しっかりとはめ込んでください。

＊使用パーツ袋

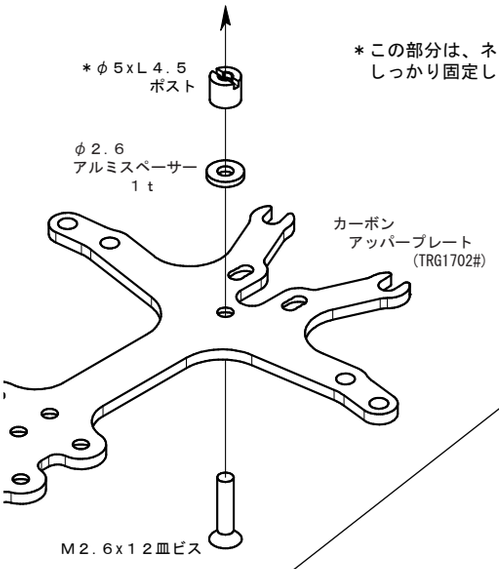
Ⓐ
Ⓔ
Ⓕ



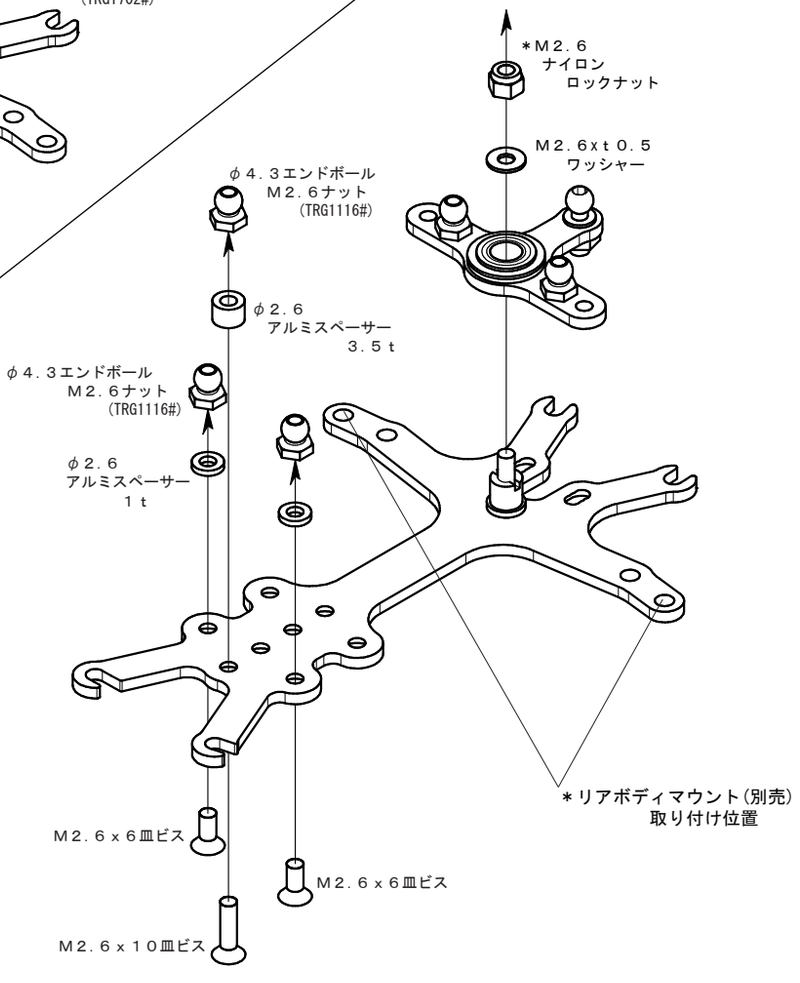


⑯ アッパープレートの組立

＊この部分は、ネジロック剤等を使用して
しっかり固定してください。



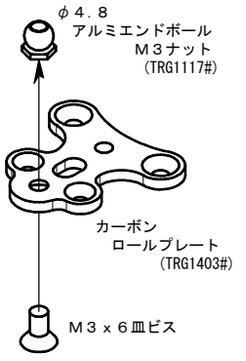
＊ロールクランクがガタ無く、
スムーズに動くように
Ｍ２．６ナイロンロックナットを
締め付け調整してください。

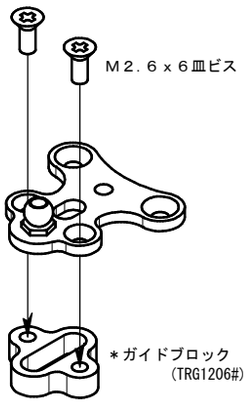


＊使用パーツ袋

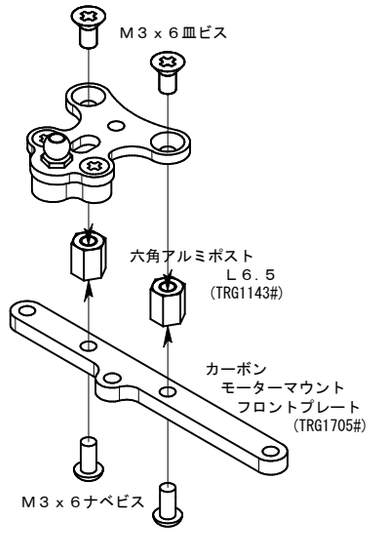
Ⓖ

⑰ ロールプレートの組立





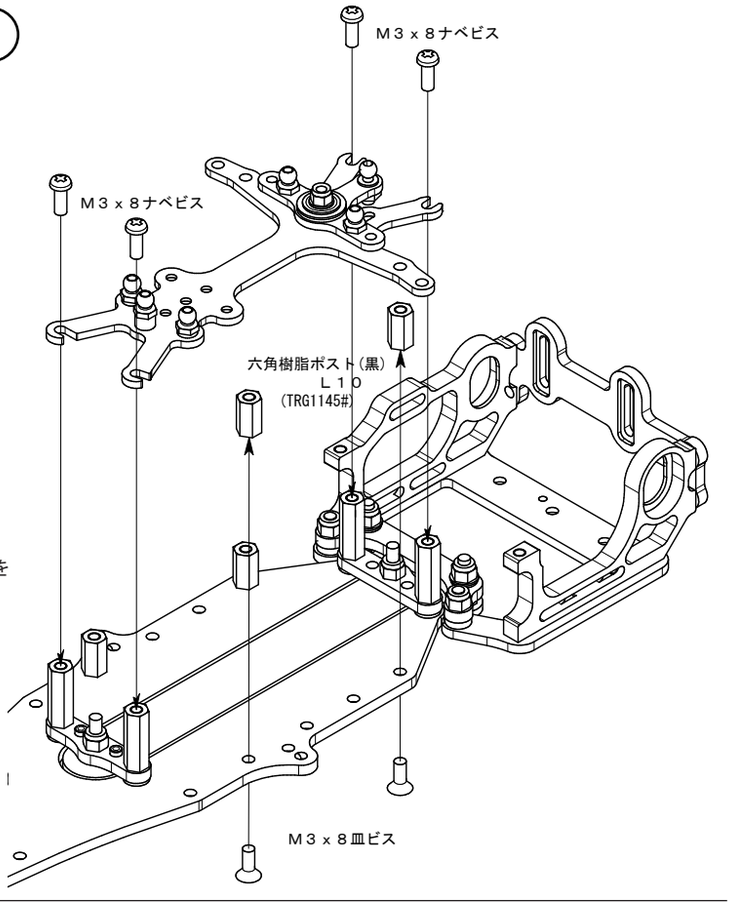
＊ガイドブロックには、裏表があります。
ビス止用の２ヶ所の穴が、三角の方が上になります。



⑱ アッパープレートの取付

図のように、⑯で組み立てたアッパープレートと
バッテリーストッパー用樹脂ポストをとりつけます。

＊樹脂ポストは、左右各１ヶ所でも問題ありません。



<u>バッテリーの脱着方法</u>

バッテリーの脱着方法は、２通りあります。

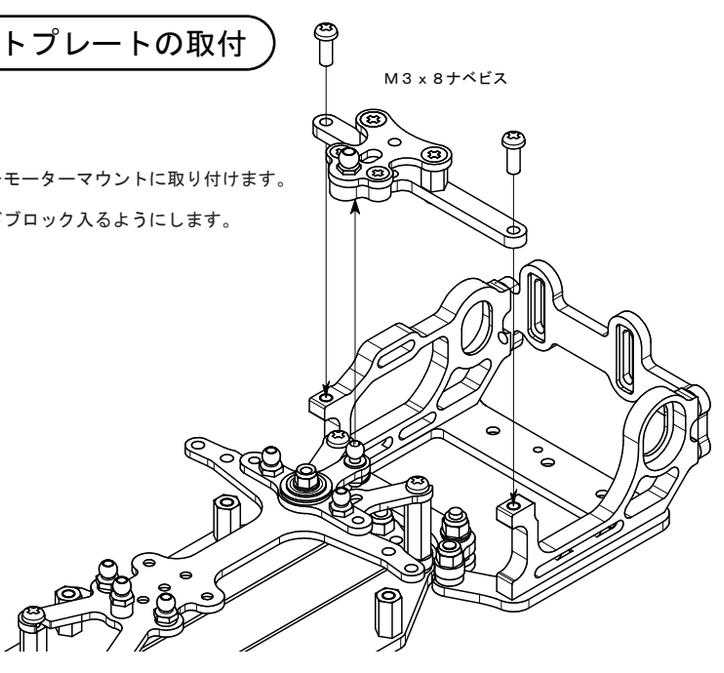
＊左右どちらかのバッテリーストッパーポストを
取り外し横から行う。

＊アッパープレートを止めている上部４ヶ所のビスを
緩め、後ろ右側を支点に右横にスライドさせ、
アッパープレートを取り外し行う。

⑲ モーターマウントフロントプレートの取付

図のように、モーターマウントフロントプレートをモーターマウントに取り付けます。

＊この際、ロールクランクのエンドボールがガイドブロック入るようにします。

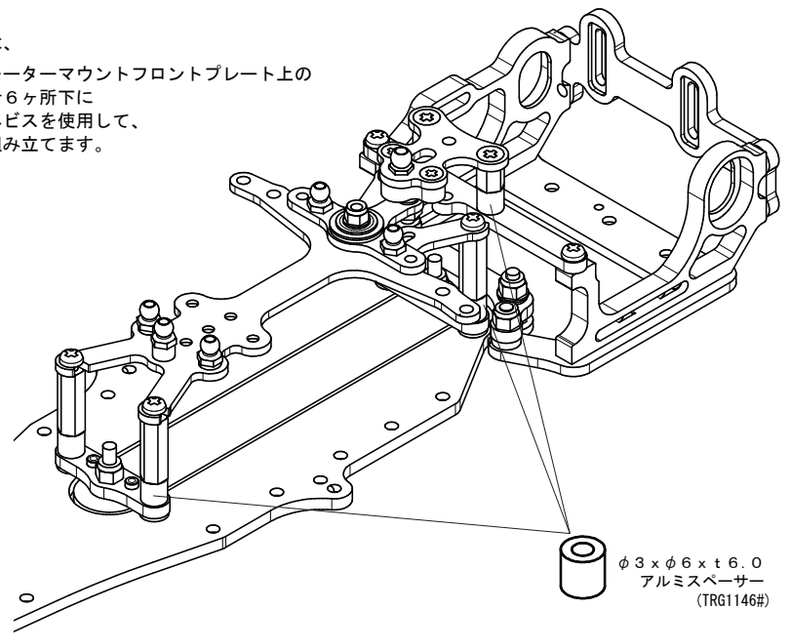


＊使用パーツ袋

Ⓗ

⑳ 25㎜厚バッテリーの場合

２５㎜厚のバッテリーを搭載する場合は、
図のように、センターポスト４ヶ所とモーターマウントフロントプレート上の
フリクションプレートポスト２ヶ所の計６ヶ所下に
付属のＭ３x１８皿ビスとＭ３x１２ナベビスを使用して、
６㎜厚アルミスペーサー入れた状態で組み立てます。



＊使用パーツ袋

Ⓘ

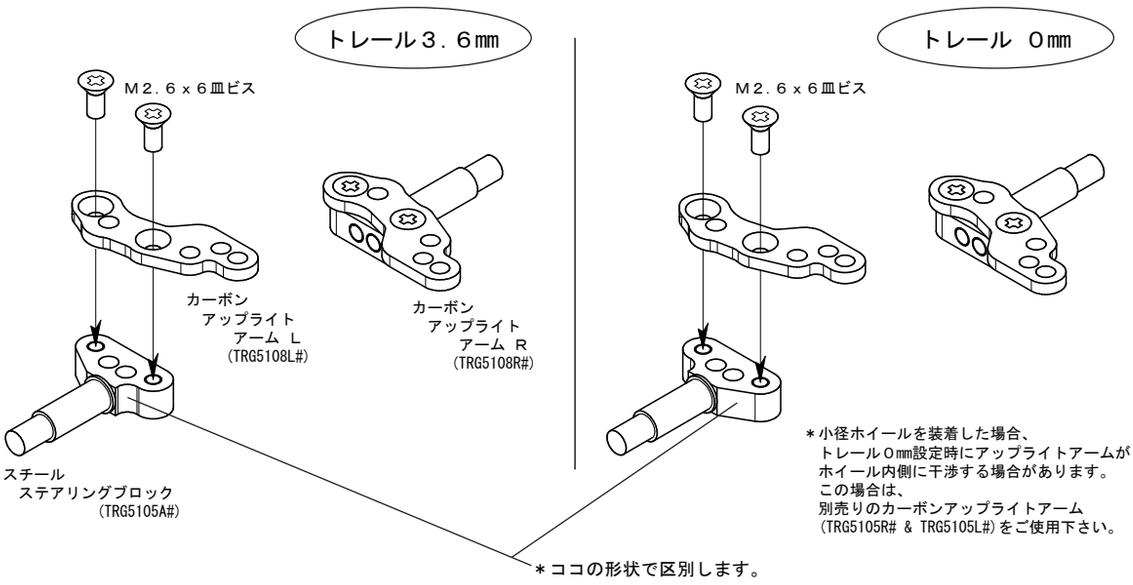
㉑ アップライトの組立

＊基準は、トレール３．６㎜です。

＊カーボンステアリングナックルアームには、左右があります。
＊スチールステアリングブロックは、左右共通です。
上下左右を入れ替えることにより、トレール０㎜(インライン)と３．６㎜、
フロントアクスルの　上下位置の変更が出来ます。
＊付属のＭ３x３ホーロービスを使用してキングピンに固定出来ます。

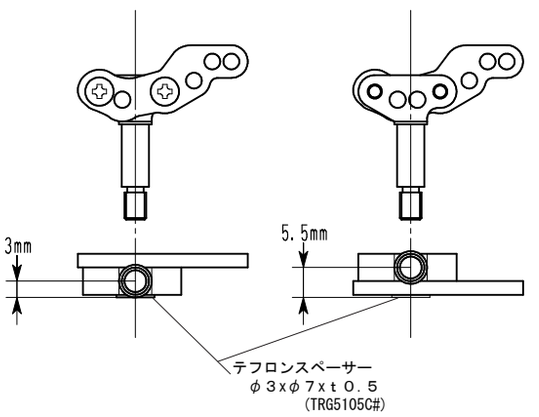
＊トレール量による
基本的なハンドリング特性は、
・トレール３．６㎜：　マイルド
・トレール０㎜　：　クイック
（インライン）

標準のアップライト(TRG5105#)の
かわりにオプションの
ＴＲＧ５１０８を使用すると
その間で調整が出来ます。
＊オプション：
トレール１．２㎜／２．４㎜
（ＴＲＧ５１０８#）

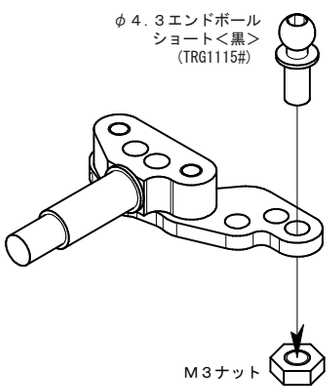


高さ設定方法

＊小径タイヤが使用できます。　＊タミヤ純正と同じ高さです。



下図のように、ステアリング用エンドボールを
左右のアップライトにそれぞれ取り付けます。



＊使用パーツ袋

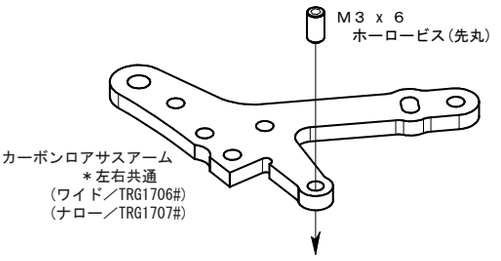
Ⓙ

Ⓚ

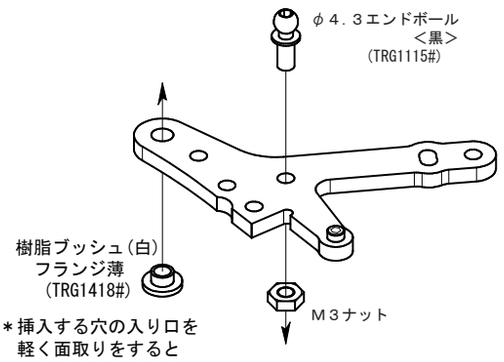
㉒ フロントロアサスの組立

＊カーボンロアサスアームは、左右共通です。
図は、右側です。左側も左右対称になるように
組み立てて下さい。

図のように、左右のカーボンロアサスアームに
Ｍ３x６ホーロービス(先丸)を
先端が１．５㎜出るように取り付けて下さい。

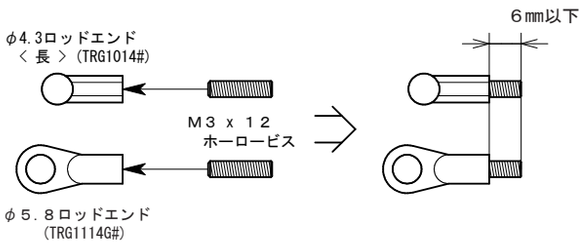


カーボンロアサスアームにホーロービスを取り付ける前に
付属のＭ３x８ナベビス等を使用して
Ｍ３(P0.5)のネジを使用して仮通しをして下さい。
その際、垂直になるように慎重にゆっくりと行って下さい。
また加工前に、剥離防止の為、ネジ穴の入り口の面取りや
ネジ穴や外周にに瞬間接着剤を流しておくことをお勧めします。

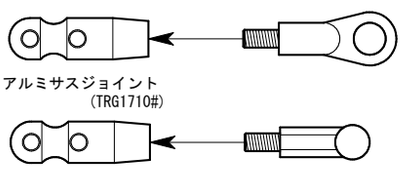


＊挿入する穴の入り口を
軽く面取りをすると
入れやすくなります。

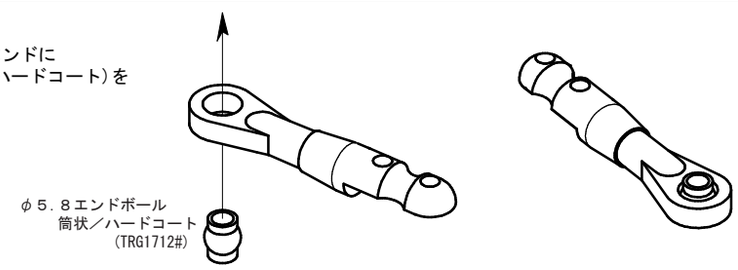
図のようにロッドエンドにＭ３x１２ホーロービスを取り付けます。
２種各２ヶ作ります。
この際、ホーロービスの出ている部分が６㎜以下になるようにして下さい。



図のように、左図で作ったロッドエンドに
アルミサスジョイントを取り付けます。



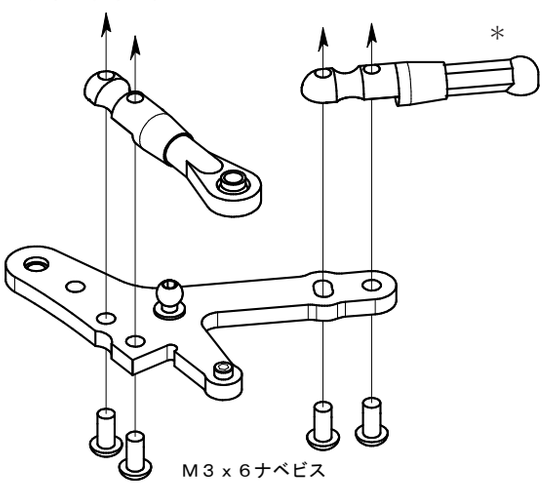
図のように、φ５．８ロッドエンドに
φ５．８エンドボール(筒状／ハードコート)を
取り付けます。(２組)



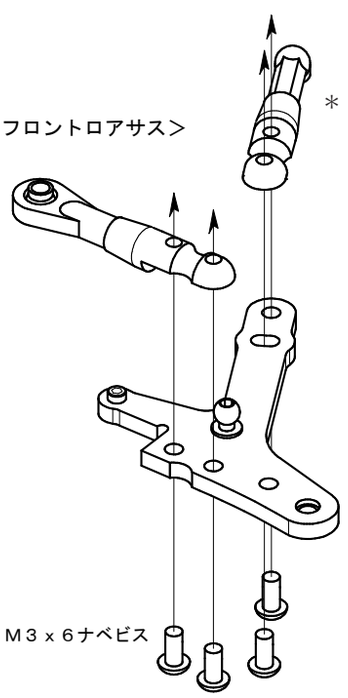
図のように、上で作った左右のロアサスにサスジョイントを取り付けます。
＊ロアサスには左右があります。
図のように左右対象です。注意して下さい。

＊左右の後側サスジョイントは、ビスを完全に締めず仮止めとして下さい。
後にシャーシに取り付けた後、ビスを締め固定します。

＜右フロントロアサス＞



＜左フロントロアサス＞

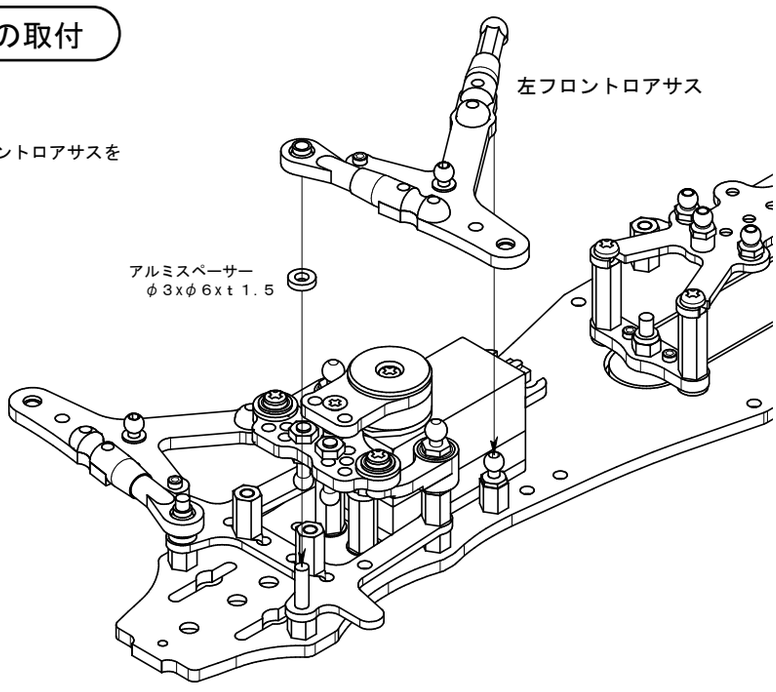


＊使用パーツ袋

Ⓙ

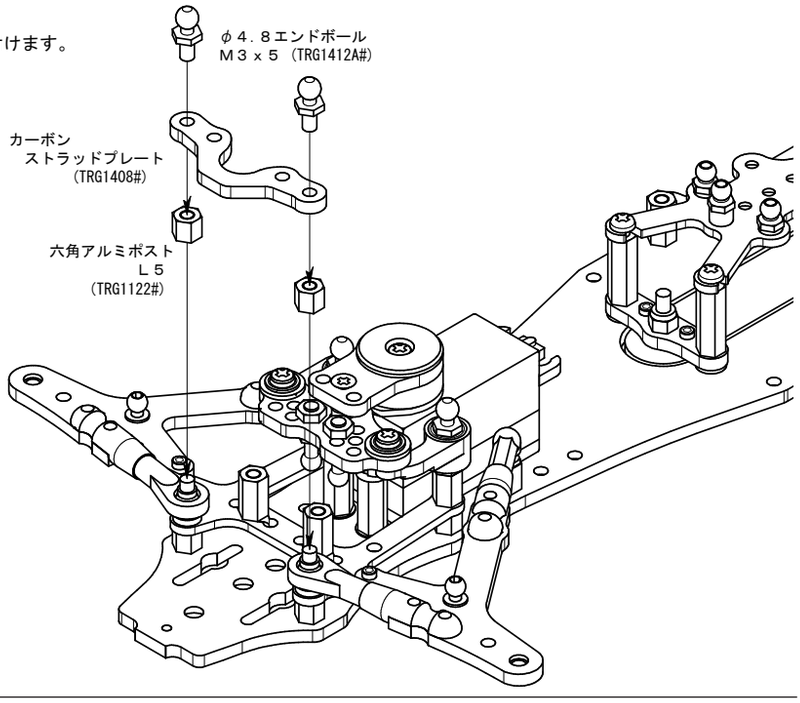
㉓ フロントロアサスの取付

図のように、㉒で作った左右のフロントロアサスを取り付けます。



㉔ フロントストラットの取付

図のように、フロントストラットを取り付けます。



＊使用パーツ袋

Ⓚ

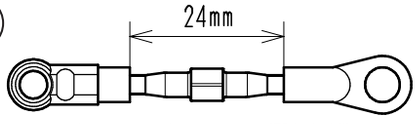
Ⓛ(Ⓜ)

㉕ フロントアッパーアームの組立

＊アッパーロッド左右対称です。２組づつ作成してください。
＊下記は、キャスター約４°／キャンバー約１°設定です。

＜ ワイドtype ＞

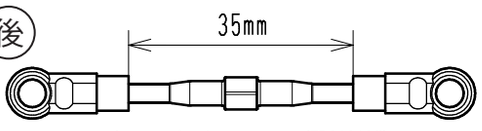
前



ターンバックル Ｌ３９(TRG1212#)

φ４.８ロッドエンド（TRG1113G#）　φ５.８ロッドエンド（TRG1114G#）

後

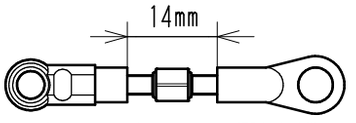


ターンバックル Ｌ４５(TRG1213#)

φ４.８ロッドエンド（TRG1113G#）　φ４.８ロッドエンド（TRG1113G#）

＜ ナローtype ＞

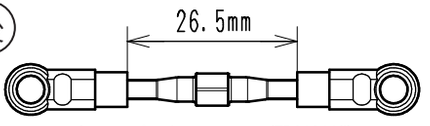
前



ターンバックル Ｌ２７(TRG1210#)

φ４.８ロッドエンド（TRG1113G#）　φ５.８ロッドエンド（TRG1114G#）

後



ターンバックル Ｌ３６(TRG1211#)

φ４.８ロッドエンド（TRG1113G#）　φ４.８ロッドエンド（TRG1113G#）

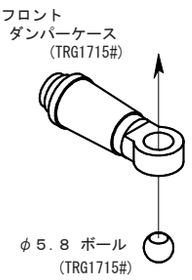
＊使用パーツ袋

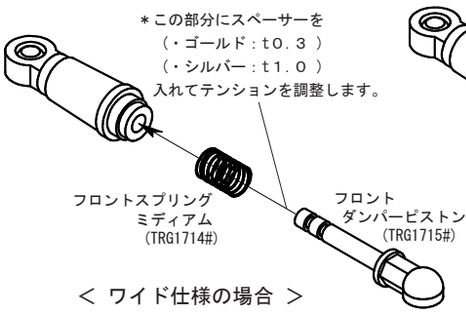
Ⓝ

＊フロントスプリングによる
基本的なハンドリング特性は、
・ミディアム(標準)： マイルド
・ハード(ＯＰ)　　： クイック
＊オプション：
フロントスプリング／ハード
＊ダンパーピストン部に
グリスを塗るとハンドリングの
フィーリングを変えられます。

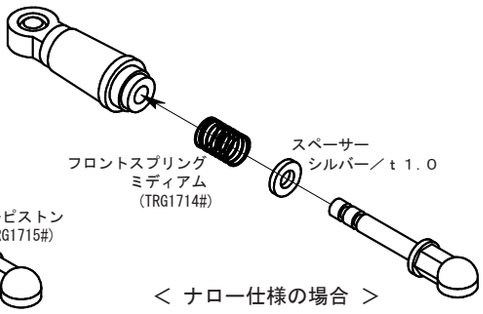
㉖ フロントダンパーの組立

図のように、フロントダンパーケースにφ５．８ボールを入れて組み立てます。
＊ワイド仕様とナロー仕様では基本の組み立て方が違います。注意して下さい。





＜ ワイド仕様の場合 ＞



＜ ナロー仕様の場合 ＞

＊使用パーツ袋

Ⓙ

Ⓝ

㉗ フロントサスペンションの組立

＊右側(R)も同じように取り付けます。

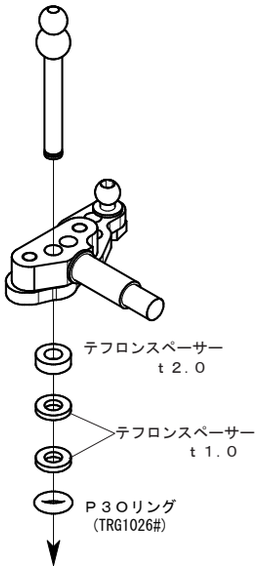
図のように、フロントサスペンションを組み立てます。
図は、ワイド仕様です。
＊ナロー仕様も同様に組み立てます。
その際、テフロンスペーサーの位置は左下図を
参考にして下さい。

＊Wボールキングピンの取り付けですが、
アップライトにキングピンが通りづらい場合は、
カーボンアップライトアームの穴を広げて下さい。

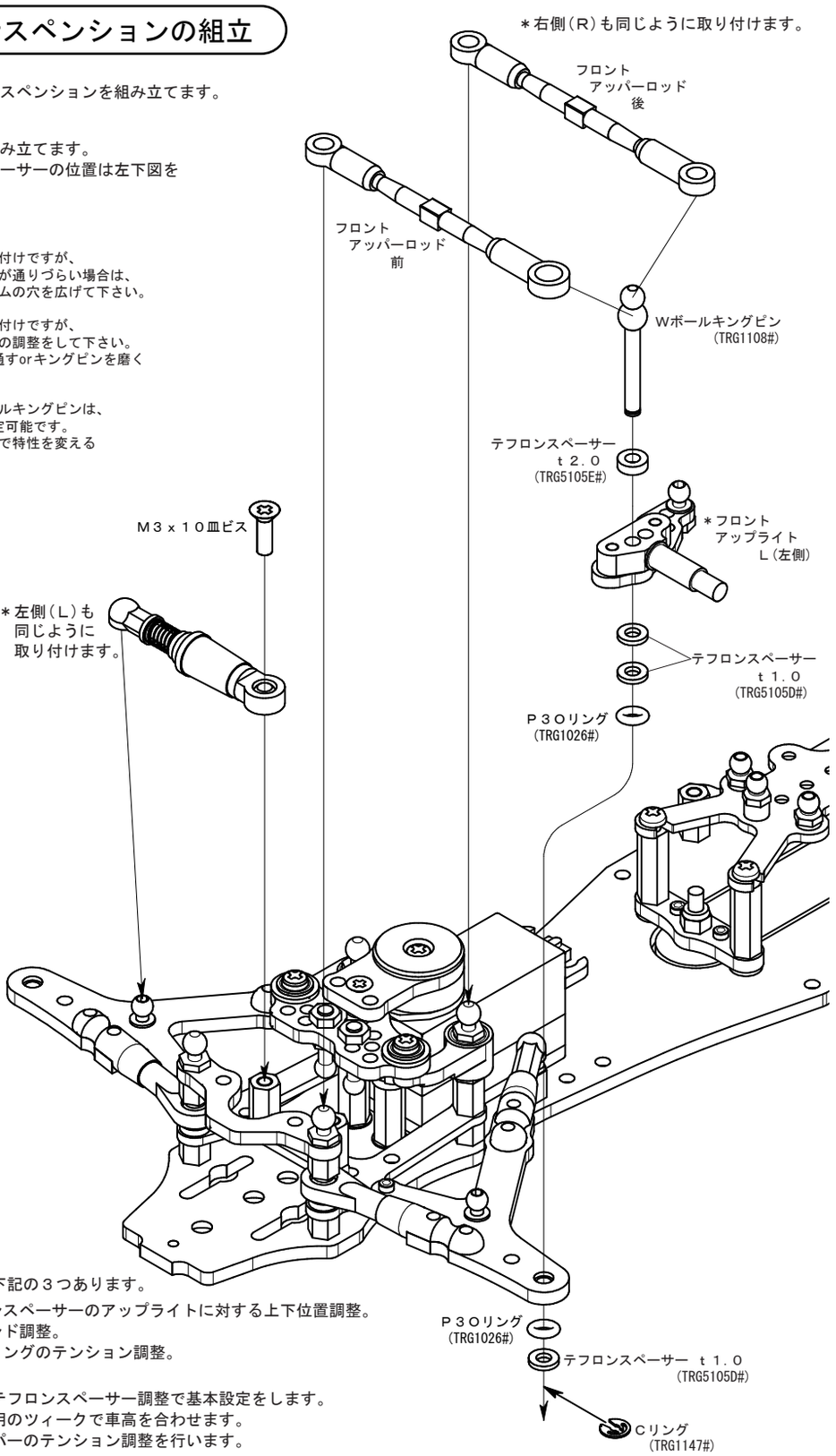
＊Wボールキングピンの取り付けですが、
スムーズに動くように下記の調整をして下さい。
・ブッシュにリーマーを通すorキングピンを磨く
・グリスアップをする

＊左右アップライトとWボールキングピンは、
Ｍ３x３ホーロービスで固定可能です。
固定した場合としない場合で特性を変える
ことが可能です。

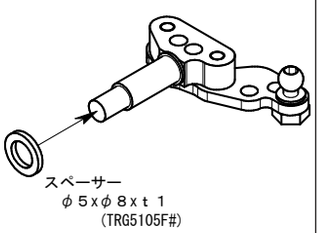
＜ ナロー仕様の場合 ＞
（タイヤ径：大径）



＊ナロー仕様の場合は上図のように、
テフロンスペーサー等を入れます。



＊フロントホイールを取り付ける前に、
付属のφ５xφ８xｔ１スペーサーを
アクスルへ先に入れてください。



フロント車高調整方法は下記の３つあります。
・キングピン部のテフロンスペーサーのアップライトに対する上下位置調整。
・ツィークによるリバウンド調整。
・フロントダンパースプリングのテンション調整。
＊セットアップの手順は、
最初にキングピン部のテフロンスペーサー調整で基本設定をします。
次に、リバウンド調整用のツィークで車高を合わせます。
そして、フロントダンパーのテンション調整を行います。

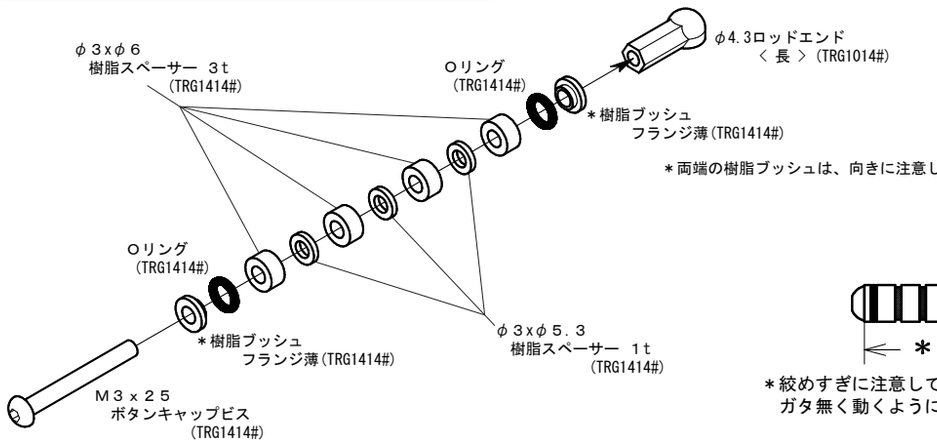
＊使用パーツ袋

Ⓚ

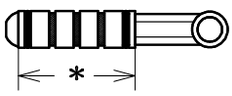
Ⓞ

㉘ ロールダンパーピストンの組立

＊ロールダンパーピストンは、２組作ります。



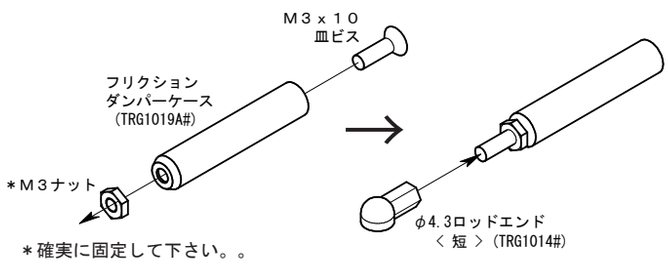
＊両端の樹脂ブッシュは、向きに注意して下さい。



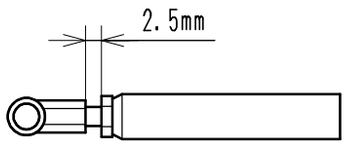
＊絞めすぎに注意して、間のスペーサー等が
ガタ無く動くようにして下さい。

㉙ ロールダンパーケースの組立

＊ロールダンパーケースは、２組作ります。



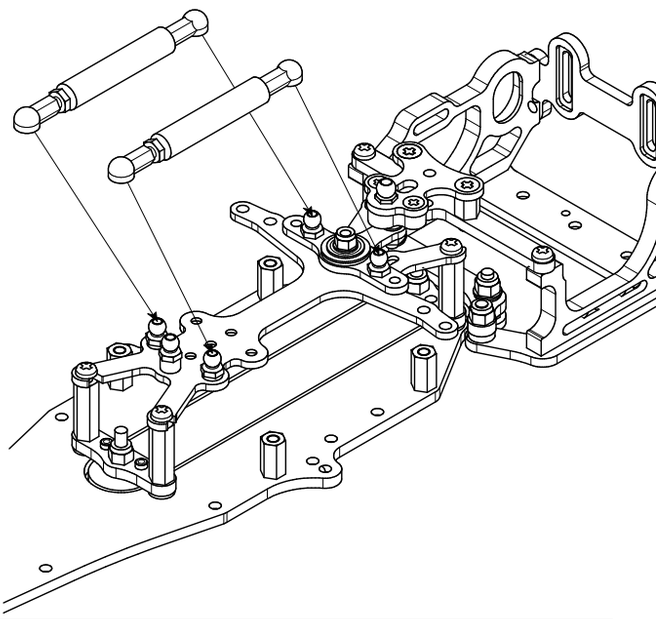
＊確実に固定して下さい。。



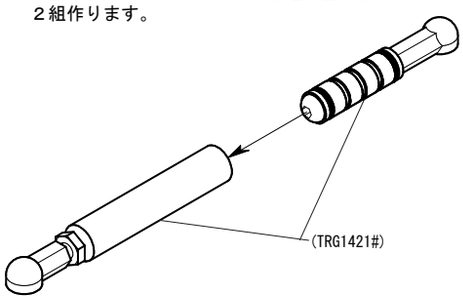
＊よりマシンを曲げたい場合にスプリングを入れます。
＊オプションのロールスプリングを使用した場合、
ロールダンパーケースをまわすことにより、
クリアランス調整が出来ます。
基準は、２．５㎜です。

㉚ ロールダンパーの取付

＊右図のようにロールダンパー２ヶを取り付けます。



＊下図のようにロールダンパーを組み立てます。
２組作ります。



＊基準のグリスの粘度は、＃１００００です。
グリスの粘度によるハンドリング特性は、
・硬くすると、マイルド
・柔らかくすると、クイック となります。

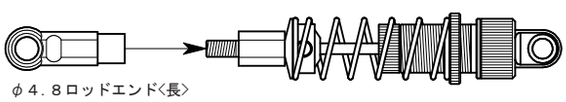
＊使用パーツ袋

Ⓚ

㉛ ピッチングダンパーの組立

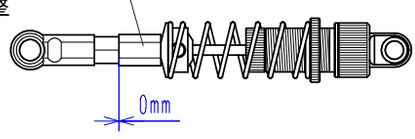
＊マシンに搭載した状態で、この部分をレンチ(5.5㎜)等で
回すことでリバウンド調整可能です。１回転で０．５㎜です。

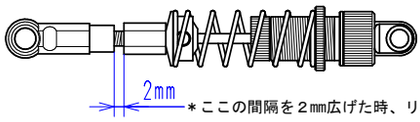
＊この部分は、ネジロック剤等を使用してしっかり固定してください。



＊基準のダンパーオイルは、＃５００です。
＊キット標準のピッチングダンパースプリングは、ミディアムです。
セットアップ用として、ＰＲＩＭＥ製のハード，ソフトをお勧めします。

リバウンド調整





＊ここの間隔を２㎜広げた時、リバウンドはほぼ＋２㎜です。

＊セットアップ手順として、最初に走行状態でメインシャーシとリアロアブレースが
一直線になるように調整して、基準のリバウンド０状態にします。
基本の設定は、リバウンド＋１㎜です。
・グリップ感を得たい場合は、リバウンドを少なく(最大リバウンド０の基準まで)、
・転倒するほどハイグリップな場合は、リバウンド大きくします。

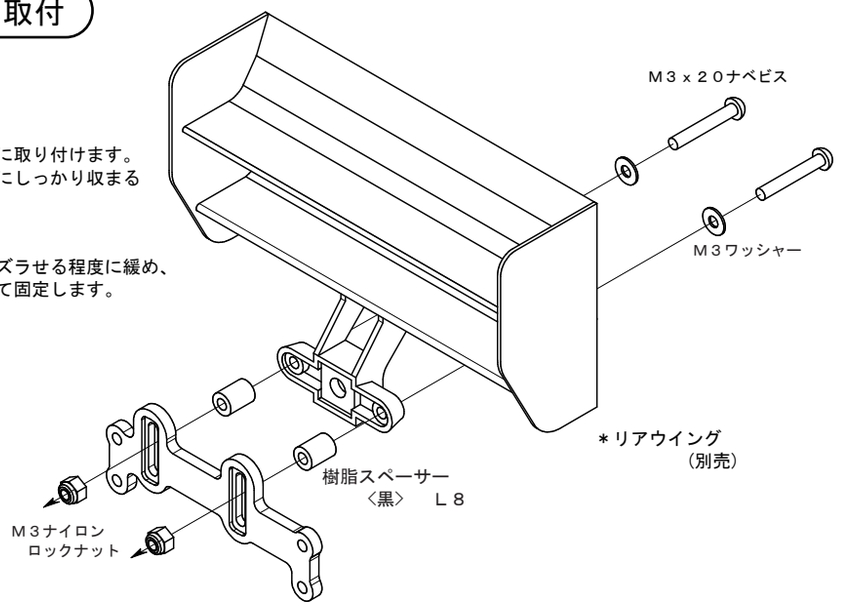
＊使用パーツ袋

Ⓟ

㉜ リアウイングの取付

リアウイング(別売)は、図のように取り付けます。
＊Ｍ３ナイロンロックナットが溝にしっかり収まるように取り付けて下さい。

＊リアウイングの高さ調整は、
取り付けビスをリアウイングがズラせる程度に緩め、
任意の位置に決めてビスを締めて固定します。



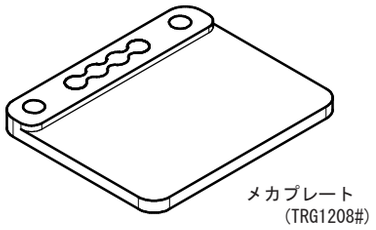
＊使用パーツ袋

Ⓠ

㉝ メカプレートの取付

メカ類を両サイドに搭載する場合は、
メカプレートをメインシャーシの両サイドの任意の位置に
付属のＭ３ｘ１０ナベビスとＭ３ナットを使用して取り付けます。

＊ボディ形状、重心バランス、配線、バッテリーの取り外し等を考慮して
取り付け位置を決めて下さい。
＊バッテリーストッパーも兼ねますので、ビスＩ本止めも可能です。

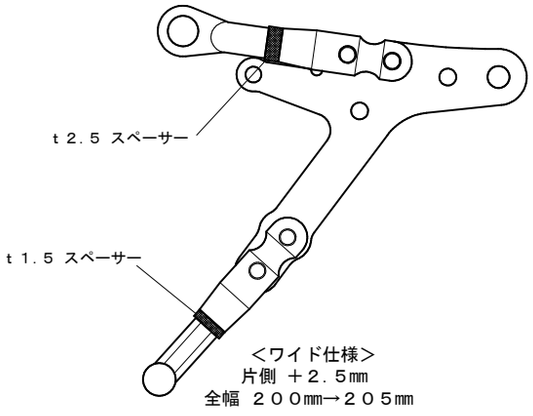


㉞ フロントトレッド調整方法

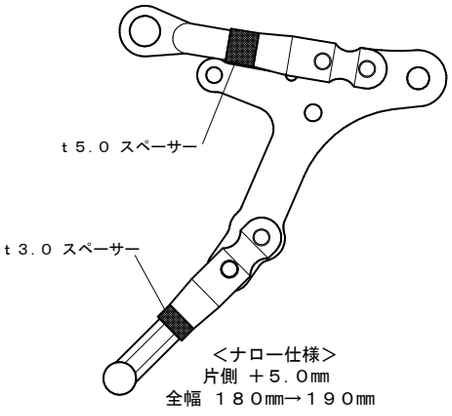
＊調整用のスペーサーは付属されていません。
別途ご用意下さい。
適用サイズは、φ３ｘφ６ です。

図のように、アルミサスジョイントとロッドエンドとの間にそれぞれ
スペーサーを入れてトレッド(全幅)調整が可能です。

＊フロントトレッドを変更した場合、アッパーアーム、ダンパー取付位置、
ステアリングリンケージの変更が必要となります。
その際は、変更及び各部の再設定を行って下さい。



＜ワイド仕様＞
片側 ＋２.５㎜
全幅 ２００㎜→２０５㎜



＜ナロー仕様＞
片側 ＋５.０㎜
全幅 １８０㎜→１９０㎜

㉟ その他

＊ネジ止め各部には、緩み止め防止のネジロック剤を使用することをお勧めします。
その際、ネジロック剤が可動部に着かないように注意して下さい。

＊ステアリングサーボは、ロープロ専用です。
サンワ、フタバ、ＫＯ等の現行のタイプは、基本的に搭載可能です。
その他は、一部加工調整が必要な場合があります。

＊フロントホイールは、出来るだけ大径のものをお勧めします。(例：ＴＺconcept, ＺＥＮ等)
設定トレール等キングピンの位置関係によって、小径ホイールの場合干渉することがあります。

＊ロールスプリングは、コース状態やドライビングスタイルに合わせて変更可能です。
・ロールスプリングを使用しない場合、リアが最も安定します。
・ロールスプリング＜ソフト＞を使用した場合、リアは安定した状態で曲がるようになります。
・ロールスプリング＜ハード＞を使用した場合、より曲がるようになります。

＊レフトハブは、ＱＴＥＱ製(QT-090601)をお勧めします。